

市民と福祉をむすぶ

かけはし

第192号

2020
6月

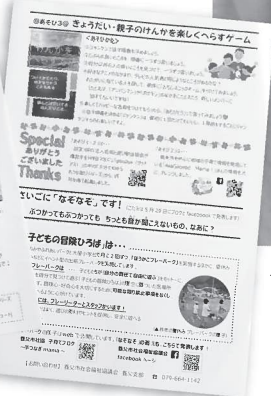
■編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）
令和2年6月15日発行 ■電話（079）662-0160 ■FAX（079）662-0161 ■E-Mail :info@yabu-shakyo.jp
■ホームページ http://www.yabu-shakyo.jp/

お家でできるアイデア遊びにチャレンジ

▶いろいろなせんたくばさみをはさんで高
く積み上げる「せんたくばさみタワーチャ
レンジ」に挑戦しました



プレーパークだより
特別号を発行



▲「4マスでできるクロスワード」が完成し、マスクの向こうで笑顔がはじ
けました（＝5月22日、大屋学童クラブ）

◀「プレーパークだより コロナにまけるな特別号」は、市内の全小学生と
5歳児に配布しました

養父市社会福祉協議会では、主に小学生の子どもたちに向けて、「家での時間を少しでも楽しむための遊びのヒント」を集めた「プレーパークだより コロナにまけるな特別号」を発行しました。

新型コロナウイルスの影響で、市内の小・中学校も3月から5月にかけて、とても長い期間の一斉休校となり、その間、市内の学童クラブは実施場所を各小学校に移して活動を続けていました。

5月22日の午後、大屋小学校のランチルームで遊んでいた大屋学童クラブの1年生から4年生に、「プレーパークだより」に掲載した遊びを実際に楽しんでもらいました。横に読んでも縦に読んでも言葉になるように文字を考える「4マスでできるクロスワード」（写真右）にチャレンジした中尾葉さん（3年生）は、「ちよっと難しかったけど楽しかった」と話しました。後日、親戚とも楽しんだそうです。

住民の善意があつまりつながる

「善意銀行」



1962年(昭和37年)に徳島県や大分県の社会福祉協議会の発案で始まった「善意銀行」。これは、社会福祉のために労力や金銭の預託を受け、支援を必要とする人にこれらの善意をつなげるもので、そのしくみが全国に広がりました。今回は養父市善意銀行の取り組みを紹介します。

養父市善意銀行って

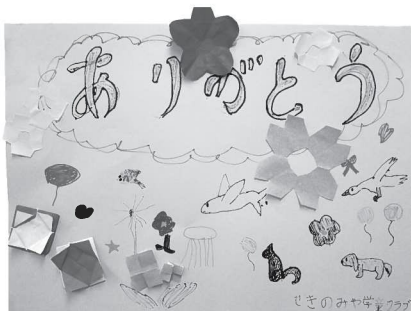
誰もが自分の幸せを願うとともに、社会のために少しでも役に立ちたいという温かい心を持っているものです。

養父市善意銀行は、こうした皆さんからの温かい善意の気持ちを金銭や物品として預かり、在宅や地域社会などで必要とされる方に有効に活用する窓口です。

寄附金や物品の行先は

寄附された善意は、様々な形で地域に還元しています。

寄附金は、市内の新小学一年生の交通安全を願い贈呈するランド



▲▶第一学院高等学校から寄附のあったペットボトルのお茶は市内学童クラブに届け、せきのみや学童クラブからお礼状が届きました

セルカバー、地域のつどいなどで使用できるレクリエーション用具や地区のベンチや折りたたみいすの購入に払い出したり、災害見舞金を届けたりしています。

また、本紙「かけはし」や高齢者保健福祉月間のポスターなどの広報活動にも使われます。

寄附物品は、生活困窮世帯やデイサービス、いきいきサロンなどで活用しています。

時代を反映した寄附

コロナウイルスの感染が拡大し、マスク不足が深刻になるなか、マスクの寄附が多くありました。縫製の仕事をしていた人や手芸ボランティア、学生などから寄せられた手作りマスクは、ボランティア活動者や高齢者などに払い出しを行いました。

また、医療機関で使われている微粒子用N95マスクやサージカルマスクは、病院や通所介護事業所に届けました。

休まずに運営する障害者施設や学童クラブには、ペットボトルのお茶の指定預託がありました。

善意の預託に

ご協力ください

養父市善意銀行にはたくさんの善意の寄附が寄せられ、寄附者の思いを大切にしながら活用しています。

普段の小さな善意は、大きな形となり、東日本大震災などの被災地へ衣類や寝具などの物品や励ましのメッセージとなり届けられました。この度のコロナ禍でも、いち早く善意の気持ちが持ち寄られています。

これからも地域福祉の推進のため、善意銀行に皆様のご協力をお願いいたします。



▲届けられたすずこはいきいきサロン関宮でふるまわれ、利用者はすずこの思い出話に花を咲かせていました

〈第3次地域福祉推進計画の福祉目標〉

だれもが つながり ささえあう いのち輝く まちづくり ～オール養父市で未来へ～

職員体制のお知らせ（エリア別）

本部・八鹿

事務局長 石田 文孝
事務局長次 森本美弥子
地域福祉課長 小畑 美鈴
介護福祉課長 吉田 明博

■地域福祉課

【☎079-662-0160・8080】

【総務係】

係長 吉谷 進一
主事 間戸場葉子
中尾 花世
事務職員 植木 靖昌
清掃業務 守本よし子

【地域支援・生活支援グループ】

主任 佐藤 泰昭
主事 宮本 早紀
ふれあい訪問員 走出 潤子
足立 彰子
移送運転員 川濱 智
田中 枚男
通所型生活機能向上サービス
サポーター 足立 彰子
守本美智子
運転員 栃尾 宝
日常生活自立支援事業
生活支援員 田村 和子
山下 初美

■介護福祉課

【☎079-662-0666】

【訪問介護事業所】

管理者兼サービス提供責任者 佐々木千代里
サービス提供責任者 太田垣和代
宇和野麻由香
宮崎 照美
訪問介護員 藤岡さゆり
佐藤みさお
村上 晴美
山崎寿美子
大下さちよ
世登 元美
内田 博子
福岡 範子
水谷 淑子
加藤 勝美
木村 幸子
中尾美也子
石田 美鈴
村上 晴美
金海 瞳
横山 祐子
訪問型生活機能向上サービス
サポーター 守本やよい

【居宅介護支援事業所】

管理者兼介護支援専門員 中川みゆき

【居宅介護支援事業所（つづき）】

主任 矢野とも子
介護支援専門員 片山亜由子
小泉 恵子
雲田 晴美
小谷 珠美
間戸場葉子
小野山輝美
田村智香子
事務職員

【訪問入浴サービス事業所】

看護師 中野はるみ
介護員 藤原 幸代
運転員 大谷 重雄

【福祉用具貸与事業所】

専門相談員 小谷 珠美
平山 美子
田中 枚男

【障害者相談支援事業所】

相談支援専門員 谷本 好美
西谷 桂子
羽渕 弘美

養 父

■地域福祉課

【☎079-664-1142】

【養父エリア】

係長 加来 顕達
主任 岩佐 栄介
事務職員 木村 昌美
子どもの冒険ひろば
プレーリーダー 田路 寿美
ふれあい訪問員 走出 潤子
通所型生活機能向上サービス
サポーター 早田喜代子
安井富美子
木村 昌美
日常生活自立支援事業
生活支援員 北本 博子
伊藤かをる
田村 すみ
西垣 春枝

■介護福祉課

【居宅介護支援事業所】

介護支援専門員 大橋 志朗

大 屋

■地域福祉課

【☎079-669-1598】

【大屋エリア】

主任 小泉 一輝
主事 村上なぎさ
事務職員 石田 法子
ふれあい訪問員 尾崎いずみ

【大屋エリア（つづき）】

移送運転員 栃尾 頼人
子どもの冒険ひろば
スタッフ 大谷 京子
竹田 茂樹
中尾 省三
通所型生活機能向上サービス
サポーター 正垣 智子
石田 尋子
運転員 大谷 重雄
日常生活自立支援事業
生活支援員 北尾 千阪

■介護福祉課

【☎079-669-1598】

【高齢者相談センター】

介護支援専門員 榎本祐三子

【訪問介護事業所】

サービス提供責任者 太田垣和代
佐藤 和代
訪問介護員 羽渕 洋子
登録訪問介護員 安達記代子
上垣真由美
田村 公子
安達 敏子

【デイサービスセンター「ふれあい」】

【☎079-669-2013】

管理者兼生活相談員 田村 五月
介護員兼生活相談員 間戸場はるみ
小林智津美
矢野尾ちえ子
藤原 友子
上垣やえみ
上田いそ美
水田美紀子
福岡 恭子
松田 泉
藤原 幸代
田村 恵子
中村 麻美
内田いづみ
上垣 京子
和田千恵美
正垣久美子
井原 路明
介護員兼運転員 佐田 伸二
運転員兼介護員 佐田 伸二
歯科衛生士 雑賀 恵美

関 宮

■地域福祉課

【☎079-667-3248】

【関宮エリア】

係長 和田 庄治
主事 圓山 信世
ふれあい訪問員 村上 京子

【関宮エリア（つづき）】

ふれあい訪問員 栃本志津代
移送運転員 川本 勲
子どもの冒険ひろば
スタッフ 中野 博子
あたご会 西垣 保巳
安達 昭二
森本 勉
通所型生活機能向上サービス
サポーター 村上 京子
栃本志津代
日常生活自立支援事業
生活支援員 橋本 雄一
中野 博子

■介護福祉課

【☎079-667-3248・3249】

【高齢者相談センター】

介護支援専門員 木谷 英子

【訪問介護事業所】

サービス提供責任者 森本 恭子
小谷 恵
訪問介護員 岡本 満
登録訪問介護員 西谷加代子
岩佐いつ子
中村 順子
中村 理恵
小林 節子

【関宮通所介護事業所】

管理者兼生活相談員 雲田 千春
介護員兼生活相談員 藤下あゆみ
津崎 幸子
井上しづ江
竹枝 芳恵
岩佐加奈子
西口 環
森本 照子
看護師兼介護員 山根 和子
介護員 三宅 良弘
谷垣 幸子
世登さな系
上田多美子
田中 麻子
上垣 奈穂
介護員兼運転員 山本 和則
運転員兼介護員 西谷 清隆
歯科衛生士 西垣 友子

職員数（令和2年6月5日現在）

*正 規 職 員 33人
*嘱 託 職 員 6人
*臨 時 職 員 98人
合 計 137人

あたご会

3人



今月の地域だより



▶十分な間隔をとり「みんなと体操できて楽しいわあ」とのびのびと体操をする参加者（11月27日、大屋ふれあいの家）

感染症予防につとめて

『いきいきサロン』開催を継続

養父市社協では、定期的な集いの場を通じて、高齢者のいきがいある生活や介護予防を目的に、八鹿・養父・大屋・関宮それぞれの地域で、毎週一回、『いきいきサロン』（通所型生活機能向上サービス）を開催しています。

新型コロナウイルス感染症の対策で3密を避けて、受け入れ人数を減らすほか、送迎時の検温やマスクの着用、車内や室内のこまめな換気、イスや手すりの消毒、スタッフの体調管理など、感染症拡大防止の取り組みを行いながら、サロンの開設を続けてきました。

養父市非常事態宣言の解除後の5月28日、養父地域の『いきいきサロンそよ風』では、お互いに一定の距離を保つように意識しながらも、い



▲来所時に手指の消毒をおこないます

つものように、おしゃべりやゲームなどで楽しく一日を過ごしました。利用者の高品春子さん（鉄屋米地）は、「今日一日、人としやべって、笑って楽しかったです。早く日常に戻ってほしいです」と願っていました。

各サロンでは、引き続き感染症予防を行いながら、いきいき元気に集えるサロンを開催していきます。

子育てサロン・放課後ブレイパークの案内

- 子育てサロンそよ風
 - 日時 6月22日・29日(月)
 - 7月6日・13日(月)
 - 10:00～11:30
 - 場所 ふれあいきいきサロンそよ風
- 子育てサロン関宮
 - 日時 6月22日(月)
 - 10:00～11:30
 - 場所 関宮ふれあいの郷
- 子育てサロン高柳
 - 日時 6月24日(水)
 - 「七夕まつり」
 - 10:00～11:30
 - 場所 高柳ふれあい倶楽部
- 子育てサロン伊佐
 - 日時 7月6日(月)
 - 「七夕まつり」
 - 10:00～11:30
 - 場所 伊佐ふれあい倶楽部
- 多胎児サークルピーナッツ
 - 日時 7月10日(金)
 - 10:00～11:30
 - 場所 ふれあいきいきサロンそよ風
- 子育てサロンすくすく
 - 日時 7月14日(火)
 - 「水遊び」
 - 10:00～11:30
 - 場所 三宅団地集会所
- ◆関宮放課後ブレイパーク
 - 日時 6月19日(金)
 - 7月3日・10日(金)
 - 14:30～16:30
 - 場所 関宮ふれあいパーク
- ◆大屋放課後ブレイパーク
 - 日時 6月22日(月)
 - 7月6日・13日(月)
 - 14:30～16:00
 - 場所 大屋小学校

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定が変更になる場合があります

訂正とお詫び

5月号（1991号）の3ページで役職名の間違いがありました。左記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

【誤】森田龍親養父市医師会副会長

【正】森田龍親養父市医師会副議長





熊次地区自治協議会
会長
津谷 喜代春さん

新型コロナウイルスの影響で行事が延期・中止となりました。人々が集まる活動が減ってしまい残念です。

接触を減らしつつ人とつながる機会を持つと、地区有志が作製したマスクにメッセージを添えて区民に配布したり、自治協広報「くまづき」臨時号を発行したりしました。

緊急事態宣言が解除され、今後活動が活発化していきますが、以前の生活スタイルに加えて、少し間隔をとった余裕のある習慣を身に付けたいものです。

今月の かけはしさん

善意銀行だより

令和2年4月16日〜令和2年5月15日（敬称略）
預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています
養父市善意銀行へ寄附金の預託をされた方は寄附金控除を受けられる場合があります。
詳しくは事務所までお問い合わせください。

- ▼香典返し
・玉見 小野山克己 30,000円
・橋本 重信 30,000円
- ▼十二所一
・匿名391回 5,000円
・丹戸ボランティアグループ 9,300円
- ▼善意の寄附
・匿名2件 金一封
- ▼亡祖母供養
・上野 岸本 晋弥 50,000円
- ▼亡父供養
・宮本 三万 豊司 30,000円
- ▼亡母供養
・新津 田村 幸人 30,000円
・草出 瀧野 豊 30,000円
- ▼物品の寄附
・川西 高木 經吉 たいのこ、大根、ほうれん草
・新町 辻本 康次 ハガキ、さらし
・はさまじ 足立 桜彩 手作りマスク
・鉄屋米地 田内 征子
- ・玉見 小野山克己 経腸栄養剤
・神戸新聞広谷大屋専売所 サージカルマスク、液体ハンドソープ
・中間 上垣 巖 セロリ、春菊、山椒の葉
・夏梅 西田 則子 ハガキ、切手
・草出 瀧野 豊 紙おむつ、ズボン
・三宅 西谷加代子 せつけん
・さくらんぼの会 手作りマスク
・匿名 10人 衣類、手作りマスク、紙おむつ、歯磨きティッシュ、ハガキ、切手、クレヨン、色鉛筆、折り紙、たいのこ、わらび
- ▼琴弾の丘、市内学童クラブ（9か所）へ指定預託
・第一学院高等学校養父校 ペットボトル 525ml お茶
- ◆寄附金 41万4,300円
●ありがとうございました。

古切手収集

古切手・ベルマーク、書き損じハガキ等の収集にご協力いただいた皆さまを紹介いたします。

（令和元年11月16日〜令和2年5月15日）

- ▽柴山医院▽上田倫子▽草下千秋▽養父市経営企画部税務課・健康福祉部社会福祉課▽八鹿老人福祉センター▽米田義夫▽公立八鹿病院▽田中清美▽中島昭▽たいようこども園職員一同▽板本千代子▽川瀬玲乃▽福田宣男▽岩谷睦子▽岩佐豊▽村上亨子▽田村弘明▽柳イデア▽養父市産業環境部農林振興課▽田村いづみ▽藤原千里▽福井建設㈱従業員一同▽冠句やまざと▽森元智美▽大谷逸子▽日下部奈緒美▽澤山利恵▽河辺ますえ▽田村巨▽正垣義之▽美濃小百合▽大屋小学校▽若林純江▽大屋診療所▽正垣豊▽井原とよ子▽上垣恵美子▽松原清一▽小畑君子▽西田せつ子▽田畑秀子▽北尾千坂▽井上恵美子▽大屋自治協議会▽小野山信子▽大谷八千子▽田村かめ（川崎市）▽松田久美子▽西田則子▽日本精鉱㈱中瀬精錬所▽西村春子▽陶美幸▽小谷史郎▽竹内則子▽関宮地域局▽関宮中学校▽匿名40名

【敬称略】

分割 バズワード

バラバラになった漢字を組み合わせ漢字2文字の言葉を作ってね。
■ヒント 近頃ではすっかり馴染んだ言葉です。

1周年

■応募方法 はがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、ふりがな、年齢、電話番号、「かけはし」を「**ご意見・ご感想**」をお書き添えの上、ご応募ください。

正解者の中から抽選で3名さまにフオカードを贈ります。

■メ 切 令和2年6月30日必着

■応募先 〒667-0022

養父市八鹿町下網場320

「福祉の杜」内

養父市社会福祉協議会

FAX 662-0161

★前回の答えは

『終息』でした

安森 和子さん（大塚）

田淵 順さん（三宅）

森田樹美子さん（大谷）

以上3名の方が当選されました。

おめでとございます。

総合相談所のご案内

いずれも相談無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定が変更になる場合があります。

心配ごと相談・結婚相談 13:30~16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありませんか？

- ◆ 6月26日(金) 関宮ふれあいの郷
※6月26日は電話相談での受け付けとなります
- ◆ 7月3日(金) 地域交流センター「福祉の杜」
- ◆ 7月10日(金) 社協養父支部
- ◆ 7月17日(金) 大屋保健センター

◆WEL(うえる)♥縁(えん)♥友(とも)♥婚(こん)

※毎月第2・第4日曜日に開設する結婚相談(無料)

- 日時 7月12日(日)、26日(日) 13:30~16:00
- 場所 ウエルシア養父上箇店「ウエルカフェ」

弁護士による無料法律相談 13:30~16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 令和2年7月15日(水)
- 場 所 社協養父支部
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部 ☎079-662-0160

くらしの法律相談 8:30~17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、日常生活自立支援事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月~金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。



ゆうま 田村 悠真ちゃん 4歳11カ月(左)
じょう 丞ちゃん 2歳5カ月(右)
(坂本・兄弟)

うちげえの

宝

お母さんの純子さんに聞きました♪

◆名前はどのようにつけましたか？

明るく素直で、人のことを思いやれる優しい人になって欲しいと願いを込めてつけました。

◆今、興味をもっていることはなんですか？

プラレールで壮大な路線を作って遊んだり、外で虫を見つけて興味津々に見たり触ったりしています。積み木やレゴブロックも大好きです。

◆ご両親から一言メッセージ

兄弟仲良く助け合って、色々なことに勇気を持って楽しんでチャレンジしてってね。

まちのボランティアSun's

～ サポーターオレンジ ～ (養父支部)

私たちのまちのボランティアグループや市民活動団体等を紹介するコーナーです。

代表 田村きを子／会員数19人／平成19年11月結成

*どのような活動をしていますか？

毎月1回、定例会を開催し、介護予防の研修や情報交換、歌体操の練習、ゲームのネタづくりなどを行っています。これらの内容を活かし、高齢者施設や地域のふれあいサロンを訪問したり、こども園の行事で園児たちとの交流をしたりしています。

*結成のきっかけは？

第1回介護予防サポーター研修を受講した養父地域の修了生が集まって、平成19年11月に結成しました。各年度の修了生にも参加者を募り、現在は19人のメンバーで活動しています。

*活動での喜びは？ 悩みは？

訪問先で喜んでいただき「また来てね」と声をかけられると活動していて良かったと感じ、力が湧いてきます。会員が少なくなってきたので、修了生が入会(再入会)していただければ嬉しいです。

*今後の抱負は？

コロナウイルス感染拡大防止のための自粛があげた

ら、これまで訪問したことのない施設や地域のサロン、認知症カフェなどを訪問し、新しい活動の場を広げたいと思います。



▲施設訪問の様子。定例会で制作した手作りの「ボッチャ」を楽しみました(=令和元年6月27日、いきいきサロンそよ風)



この広報紙は共同募金配分金が使われています。